



梅雨時期の運転にはご注意を！



雨の日は「スリップ事故」と「視界不良による事故」に注意してください。

【スリップ事故】

濡れた路面は滑りやすくなるため、ブレーキが効きにくくなったり、カーブでスリップする危険性があります。



【視界不良による事故】

水滴等により周囲が見えにくくなるため、道路標示や標識、歩行者等を見落とす危険性があります。

また歩行者も傘や雨衣で視界が狭くなるため、車の接近に気づかない場合があります。

【いつもより速度を控えた運転】

雨の日はより慎重に運転しなければなりません。危険を回避するためにも速度を控えた運転を心掛けましょう。

【運転前の各種点検】

ワイパーゴムの劣化やタイヤの摩耗がないか定期的に点検をしましょう。視界を確保するため、梅雨期はフロントガラスの油膜除去や撥水加工を行いましょ。

【車間距離の確保】

路面が濡れていると停止距離が長くなるので、いつもより車間距離をとって走行しましょう。

【ハイドロプレーニング現象】

濡れた路面を高速で走行した際にタイヤと路面との間に水膜ができて、ハンドルやブレーキが効かなくなります。



【結露による視界不良】

車外との温度差や湿度等が原因でフロントガラスが曇り、視界不良が起きます。

車のエアコンを使用してフロントガラスに風を当て、曇りを取りましょう。